

平成29年度事業報告

事業報告

1 事業報告の概要

平成29年度は、会員各位のご協力のもと、当工業会設立50周年記念の諸事業を無事に遂行することができました。

昨年度は、当工業会にとって記念すべき新たなスタートの年となりましたが、世界では米国トランプ大統領の政権発足、韓国前大統領の罷免、北朝鮮の核開発加速及びミサイルの発射実験、欧米各国でのテロ発生など、大きな出来事・事件が続きました。国内におきましては、日本の基幹産業の製造現場において無資格検査や性能データの改ざん等の不正が立て続けに報じられました。

スポーツでは明るい話題がたくさんありました。19年ぶりの日本人横綱誕生、桐生選手の日本人初の100^m9秒台、卓球・バドミントン・女子スピードスケートの世界大会での活躍、また横浜DeNAベイスターズのCS・日本シリーズ進出は地元を大いに沸せてくれました。

経済面では、株価の回復・上昇、為替の安定、名目GDPの増加、雇用面では有効求人倍率の上昇、完全失業率の低下など、着実に経済は回復しつつあり、景気回復局面は戦後二番目の長さとなったと報じられました。しかし、このような好材料が並んでいても、GDPの6割を占める個人消費はいささか力強さに欠け、経済成長率は低い伸びのままで、今一つ景気回復の実感が伴わないというのも正直なところで、内需による経済成長を実現し、景気回復・好景気が実感出来るよう期待するところであります。

この様な中、昨年、「働き方改革実行計画」が政府より発表されました。これを受け、過重労働対策、長時間労働の是正、週休二日の実現に向けて建設業全体が動き出しました。若い方の入職促進、そして女性の活躍が大きく期待されるところでありますが、建設業におきましてはそれらに加えて、既に建設業で働いている私たちのワークライフバランスの実現も、大きな目的の一つであります。クリアしなければならない問題・課題、越えなければならない大変高いハードルがございますが、建設業各団体と協力するなど、その実現に向けて努めて参ります。

いま世界では「空気」と「水」の汚染、そして地球温暖化が大変大きな問題となっております。今や世界の環境問題に対し全ての人が協力し努力する時代であります。

私たちは日々の仕事において空調と給排水、すなわち空気と水を、また、地球温暖化とオゾン層に影響を与えるフロンガス類を空調や冷凍の冷媒として取り扱っております。

そうした中で、平成21年に当工業会が掲げました環境スローガン「神奈川発!! 地球にいいこと、ひと

つずつ」このスローガンのもと、低炭素社会の実現・環境負荷の低減を推進して参ります。

さらに一般社団法人として課せられた責任を全うするため、空調衛生設備業として培ってきた技術力をこれまで以上に活かすとともに、会員の経営力・技術力の資質向上のため、各種研修・見学会・技術講演会・安全パトロールなどを引き続き実施し、自助努力に努めるとともに、皆様から信頼され、そして、社会に貢献する企業集団、地域に必要とされる業界団体を目指して参ります。

なお、各事業の執行状況につきましては、総会議案書の各報告事項に詳述しておりますので、ここでは主な事業の概要をご報告いたします。

1. 国、県、市、関係機関、諸団体との連絡、調整

- (1) 国に対して、「地域経済活性化のため、需要側に立った経済政策のもと地元企業を活用した適正予算で即効性の高い公共工事の厳選執行」、「分離発注の促進」、「業種区分に機械設備一式工事又は空調衛生工事の新設」、「国・独立行政法人等の県下における設備工事の地元業者への発注拡大」、「時間外労働の上限規制への対応及び週休二日制の実現に向けて」等について要望書を提出、陳情した。
- (2) 県に対して、「公共事業費の予算確保」、「設備工事の分離発注の拡大」、「P F I 事業」、「インセンティブ発注の拡大」、「最低制限価格制度の設定における下限の引き上げ」、「いのち貢献度指名競争入札制度の本格実施・充実」、「時間外労働の上限規制への対応及び週休二日制の実現に向けて」等について要望書を提出、陳情した。
- (3) 横浜市に対して、「公共事業費の予算確保」、「分離発注の拡大」、「最低制限価格設定における下限の引き上げ」、「予定価格の事後公表」、「受注機会の維持・継続と専門業者への発注」、「P F I 事業」、「インセンティブ発注の拡大」、「インフレスライド条項の的確な運用」、「発注時期の平準化」、「時間外労働の上限規制への対応及び週休二日制の実現に向けて」等について要望書を提出、陳情した。
- (4) 横浜市の財政局幹部と上記 (3) の要望事項等について意見交換を行った。
- (5) 神奈川県建設業協会並びに神奈川県電業協会と連絡を密にし、地元建設業界の共通課題について、情報交換を行った。
- (6) 横浜市電設協会と、人材の確保・育成に向けて等業界を取り巻く諸問題について、意見交換を行った。
- (7) 日本空調衛生工事業協会、同関東支部各団体との連携を図るとともに、全国会議、関東支部連絡協議会等で情報・意見交換を行い、業界の地位向上に努めた。また、関東支部連絡協議会においては、「建設業の元請、下請けルール」（契約約款の改正）をテーマとした、法令遵守の徹底に向けた講習会が開催された。

2. 県、市への協力

- (1) 「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定」に基づく訓練実施に、会員4名（4社）が参加した。
- (2) 「横浜市公共建築物に係わる震災時の応急措置の協力に関する協定」に基づく訓練実施に、即時出動会員41名（20社）、バックアップ会員45名（34社）の合計86名（54社）が参加した。

3. 業界PR、情報提供

- (1) 工業会のホームページで、会員への情報サービスの向上を主眼に、団体・業界のPRを行った。
- (2) 工業会の「会報」（年3回発行）の会員並びに関係機関・団体等への配布、日本空調衛生工事業協会発行の「空衛」・「空衛手帳」の会員配付等を通じての業界PRと官公庁等からの情報提供のほか、設備関連図書の紹介、斡旋を行った。

4. 会員の経営、技術力向上活動

- (1) 労働人口が減少していく中で、建設産業従事者の高齢化と減少は深刻で、若手、女性労働者の確保・育成に向けて「だれもが働きやすい職場環境づくり」（若手社員の確保・定着と女性活躍の社内の仕組みづくりについて）をテーマとした経営幹部研修会を神奈川県電業協会、横浜市電設協会及び横浜建設業協会からの参加も得て開催した。
- (2) 技術力の向上に向けて横浜市建築局公共建築部に講師を依頼し、「横浜市新市庁舎の整備について」（整備概要及び省エネ、BCP対応にかかる設備的計画ほか）をテーマとした技術講演会を開催した。
また、同講演会において「環境宣言」スローガンである「神奈川発!! 地球にいいこと、ひとつずつ」に向けた取り組み事例の紹介を行った。
- (3) 会員の技術力の向上を図るため、技術研修見学会を開催した。
- (4) 「横浜市機械設備工事施工マニュアル」改訂版（平成29年版）の発刊並びに頒布を行った。

5. 人材の確保、育成

県内公立工科高等学校の生徒を対象とした現場実習計画に協力し、1校から36名の実習生を会員企業7社が受け入れて実施した。

なお、この取り組みは、人材の確保、育成に向けて平成8年から毎年実施しており、本年度、神奈川県教育委員会教育長から当工業会に感謝状が贈呈された。

- (2) 産学連携による技術系高等学校教員の現場経験の一環として、若手教員を対象とした現場研修見学会を開催した。
- (3) 設備工事業への理解の増進を図るため、工業高校生徒を対象とした現場研修見学会を開催した。

6. 労働災害防止活動

- (1) 工事現場における安全管理と災害防止の徹底を期するため、横浜市建築局が主催する合同安全パトロール（9現場）に参加した。
- (2) 労働安全衛生規則の一部改正に伴い、足場の組立て等の業務に従事している者に対し、事業者は「足場組立て等の業務に係る特別教育」の実施が義務付けされたことから、昨年度に引き続き建設業労働災害防止協会神奈川支部の協力を得て講習会を開催し、安全技術の習得と安全意識の高揚に努めた。
- (3) 「全国安全週間」ポスター並びに「全国労働衛生週間」ポスター（各2種類）を全会員に配布した。

7. 表彰、記念品の贈呈

- (1) 永年にわたり建築設備業に従事し、業界の発展に貢献された業績をたたえるため、「会員事業所従業員表彰」を行った。
- (2) 公立工科高等学校現場実習生受入れ協力会員企業及び技術系高等学校教員、高等学校生徒の現場研修見学会の協力事業所に記念品を贈呈した。
- (3) 設立50周年記念表彰として、「特別功労者表彰（役員、相談役）」を行った。

8. 設立50周年記念事業の実施

- (1) 当工業会の設立50周年を記念して、次の諸事業を行った。
 - (1) 記念祝賀会の開催
神奈川県知事、横浜市長、日本空調衛生工事業協会会長、同工事業協会関東支部長、神奈川県議会議長、横浜市会議長、地元選出国會議員、県議会・市議員等多数の来賓の方々を迎え、当会正会員、賛助会員と合わせて約300名が出席して開催した。
 - (2) 記念寄付金の贈呈
神奈川県「動物保護センター建設基金」、神奈川新聞厚生文化事業団及び横浜市社会福祉協議会に対して寄付金を記念祝賀会の際に贈呈した。
 - (3) 環境ポスターの募集
当工業会の環境宣言スローガン「神奈川発!!地球にいいこと、ひとつずつ」を基本とし、身近な環境問題をテーマとした「環境ポスター」を県内技術・工業系高等学校生徒から募集し、記念講演会冒頭において入選者の表彰式を行った。
 - (4) 記念講演会の開催
はまぎんホールヴィアマールにおいて、アルピニスト野口健氏を講師に招き「地球環境保全啓発特別講演会」を開催し、当会会員及び関係者、一般公募の方、当会関係機関の方など合わせて約450名の来場をいただき開催した。
 - (5) 「会報」（設立50周年記念特集号）の発行
会報第129号（11月末）発行にあたり、「設立50周年記念特集」を合わせて編集し、「会報第129号」〈設立50周年記念特集号〉として発行し、会員、関係機関等に配布した。